

## 第3学年 音楽科学習指導案

平成30年9月18日（火）第5校時

1 題材名 拍のながれにのってリズムをかんじとろう

2 題材について

(1) 題材にかかわる児童の実態

本学級の児童は、音楽の授業が好きで、意欲をもって取り組んでいる児童が多い。1学期から、常時活動としてわらべうたを取り入れている。教師が歌うわらべうたを聴いて歌を覚え、友達とかかわり合いながら体全体で音楽を感じて歌い遊ぶ活動を、児童はとても楽しんでいる。わらべうたで歌い遊ぶことで、しっかり自分の体で拍を感じられる児童が増えてきた。また、4月当初は、力いっぱい大きな声で歌う児童が多くみられたが、歌い親しんだわらべうたをカノンで歌うことを通して、互いの声を聴き、合わせる心地よさを感じられるようになってきた。また、リコーダー学習では、それまでに遊んだ10曲のわらべうたの楽譜を配布したところ、児童は夢中で練習し、楽しみながらレパートリーを増やしていた。児童にとって喜ばしいリコーダーとの出会いとなっていた。

(2) 本題材における指導

本題材では、拍やリズムに対する感覚、またそれらを表現するための能力をより伸ばしていくことに重点をおいて学習を進めていく。そのためには、授業の中で積極的に体を動かしながら歌ったり聴いたりすることを取り上げる必要があると考える。拍を感じ取りながら、音や気持ちを合わせて演奏する活動は、高学年に向けて、息の合った美しい合唱や合奏に取り組むうえで大切な基礎となるものである。リズムの特徴が異なるパートの合唱や、「三三七拍子」のリズムを基に、反復や変化を生かして音楽をつくる学習を通して、拍やまとまりのあるリズムが生み出す面白さを感じ取りながら、基礎的な表現の能力を伸ばしていく。

(3) 本題材の学習で働かせてほしい音楽的な見方・考え方

- ・音楽に対する感性を働かせ、拍、リズムを体全体で捉え、歌ったり、リズムづくりをしたりし、拍を感じることやリズムの楽しさに迫っていく。
- ・我が国の音楽に親しむ観点からも、わらべうたで拍を共有することの心地よさを感じる。
- ・四分音符、八分音符、四分休符等の組み合わせで、リズムパターンができていることを理解する。また、それらを音楽を形づくっている要素（反復、変化など）とその働きの視点で捉え、まとまりのあるリズムをつくる。

### 3 題材の目標

- (1) 拍子やリズムの特徴を感じ取りながら、拍を感じて歌ったりリズム唱したりして、拍やリズムについて理解する。〈知識及び技能〉
- (2) 「なかなかほい」でリズムを感じて歌い遊ぶことを通して、音楽の構造を理解し、反復や変化などの音楽の仕組みを生かして、まとまりのあるリズムをつくる。  
〈思考力・判断力・表現力等〉
- (3) 友達とかかわり合い協働して音楽活動をしながら、体全体で音楽を感じ取ったりリズムをつくったりする活動に進んで取り組んでいる。〈学びに向かう力，人間性等〉

### 4 教材について

#### ○わらべうた

わらべうたは、子供たちが遊び、歌い続けることによって伝承されてきたもので、歌詞や旋律、遊び方が地域によって異なるのが特徴である。歌と遊びが一体となって、友達とかかわり合いながら親しむことができるほか、日本語のもつリズム、拍節感から、音楽を感じ取って歌ったり、体の動きを工夫したりすることができる。

以下の①～③のわらべうたは、拍やリズムを感じ、友達と一緒に遊びながら歌う活動として選択した教材である。

#### ①『なかなかほい』（しぐさ遊び／まりつき）（中国四国地方）

歌詞は「なか」、「そと」、「ほい」という言葉で構成されていて、言葉遊びの要素をもっているわらべうたである。言葉に合わせて動作をする遊び方をする。

#### ②『おつきさん、こんばんは』（役交代じゃんけん／大縄跳び）（群馬県）

お月さんになる鬼を一人決め、みんなは手をつないで円になる。歌に合わせて歩き、鬼と出会った子が挨拶し、じゃんけんをする。負けた人が鬼になる役交代の遊びである。

#### ③『うさぎ』（東京）・・・共通教材

十五夜お月さんの中には兎が住んでいて、常に餅をついているという情景を思い浮かべながら歌うわらべうたである。前半と後半で呼びかけと答えになっているような歌詞の内容や、1文字の中で音の高さが変わる旋律などに気付いて歌う。

#### ○ゆかいな木きん

2拍子の拍の流れにのって、主な旋律の音程やリズムに気を付けて歌ったり、歌詞の表す様子を思い浮かべながら楽しく歌ったりするのに適した教材である。

#### ○手拍子でリズム

拍の流れにのって手拍子でリズムを打ったり、リズムフレーズの仕組みを生かして4小節のリズムをつくったりしていく教材である。

5 学習指導要領の指導事項と【共通事項】ア・イの関連及び具体的な学習活動

<p>指導事項</p>	<p>歌唱ア 歌詞表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつこと。</p> <p>イ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くこと。</p> <p>器楽ア 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつこと。</p> <p>イ (イ) 楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わり</p> <p>音楽づくり</p> <p>ア (イ) 音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつこと。</p> <p>イ (イ) 音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴</p> <p>ウ (イ) 音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能</p>					
<p>【共通事項】ア</p>	<p>拍</p>	<p>リズム</p>	<p>フレーズ</p>	<p>反復</p>	<p>変化</p>	<p>呼びかけと答え</p>
<p>【共通事項】イ</p>	<p>4分の2拍子</p>	<p>四分音符、八分音符、四分休符</p>				
<p>主な学習活動</p>	<p>・拍を感じながら、歌ったり演奏したりする。</p>	<p>・リズムに気を付けて歌う。 ・まとまりのあるリズムをつくる。</p>	<p>・旋律の動きやリズムに気を付けて歌う。</p>	<p>・まとまりのあるリズムをつくる。</p>	<p>・まとまりのあるリズムをつくる。</p>	<p>・旋律の動きやリズムに気を付けて歌う。</p>

6 題材の指導計画・評価計画（6時間扱い）

(1) 評価規準

	音楽への 関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能
題材の 評価 規準	① 拍にのって歌う学習に進んで取り組もうとしている。 ② 拍を感じながら、歌ったり楽器を演奏したりする学習に進んで取り組もうとしている。	① リズム、旋律、拍を聴き取り、曲想を感じ取って、それにふさわしい歌い方を工夫している。 ② リズムの反復や変化を聴き取り、拍の流れを感じながら四分音符と八分音符の組み合わせを工夫し、反復と変化を生かしたまとまりのあるリズムをつくることに思いや意図をもっている。	① 反復や変化を生かし、まとまりのあるリズムをつくって手拍子で演奏している。 ② 拍を感じて、友達の声を聴きながら歌っている。
1時	①		
2時		①	
3時			①
4時		②	
5時			②
6時	②		

(2) 題材における指導計画・評価計画（本時4／6 ★が本時）

時	◆ねらい○学習内容・学習活動 ◎教材 特に <u>音楽的な見方・考え方を働かせる場面</u>	・指導上の留意点 ☆評価規準【評価方法】
第1次	◆日本に古くからつたわらべうたを、拍を感じて歌い遊ぶ。 ◎なかなかほい ◎おつきさん、こんばんは ◎うさぎ	
1	○「拍」と「リズム」について、わらべうたで <u>歌い遊ぶことで、体で感じて理解する。</u> ・わらべうた「おつきさん、こんばんは」「なかなかほい」を拍を感じて歌い遊ぶ。 ・「拍」と「リズム」について理解する。	・全員で円になり、いろいろな友達とかわり合って、拍を感じて遊べるようにする。 ☆関①【活動観察・発言内容】
2	○常時活動：わらべうた「おつきさん、こんばんは」「なかなかほい」 ○いろいろなリズムパターンに親しむ。 ・四分音符、八分音符、四部休符のリズムパターン30（リズムオリンピック）	・リズムオリンピックでは、四分音符を「ター」、八分音符を「チチ」、四分休符を「スン」と声に出すことで、しっかりリズムを感じられるようにする。

	<p>○2人組で「拍」と「リズム」を分担して合わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「うさぎ」の範唱を聴く。(拍打ち)</li> <li>・<u>旋律の動きやリズム等について気付いたことを発表する。</u></li> <li>・交互唱をして旋律を歌えるようにする。</li> <li>・曲想を感じ取って歌う。</li> <li>・<u>歌うようにリズム打ちをする。</u></li> <li>・2人組で、「拍」「リズム」を分担し、合わせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お月見の風習や歌詞の表す情景からも、曲想をつかめるようにする。</li> <li>・歌えるようになったら、2人組で、拍とリズムに分かれて合わせるようにする。</li> </ul> <p>☆創①【演奏聴取・発言内容】</p>
<p>第2次 ◆反復や変化を使って、まとまりのあるリズムをつくる。</p> <p style="text-align: right;">◎手拍子でリズム</p>		
3	<p>○常時活動：わらべうた「おつきさん、こんばんは」「なかなかほい」、リズムオリンピック、「うさぎ」(拍とリズム)</p> <p>○「手拍子でリズム」<u>反復、変化を生かして、まとまりのあるリズムをつくる。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「<u>なかなかほい</u>」のリズムが、<u>AABA</u>になっていることに気づく。(反復、変化)</li> <li>・即興でAABAのリズムをつくって、楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常時活動のねらい(①わらべうた：全員で拍を感じて楽しむ②リズムオリンピック、うさぎ：児童自身が小さな伸びを感じる)を教師がしっかりもって、毎時間進めていく。</li> <li>・「<u>なかなかほい</u>」を使って、音楽の形式に気付かせる。</li> </ul> <p>☆技①【活動観察・演奏聴取】</p>
4 ★	<p>○常時活動：わらべうた「おつきさん、こんばんは」「なかなかほい」、リズムオリンピック、「うさぎ」(拍とリズム)</p> <p>○「手拍子でリズム」<u>つくったリズムを共有し、拍にのって演奏することを楽しむ。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自AABAのリズムをつくってワークシートに記入する。</li> <li>・つくったリズムをつないで手拍子で打つ。 Aさん⇒みんな(まね)⇒Bさん ⇒みんな(まね)⇒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常時活動では、教師がねらいをしっかりと進め、児童自身が楽しみや喜びを感じられるようにする。</li> <li>・自分の気に入ったリズムを記譜して、演奏できるようにする。</li> </ul> <p>☆創②【演奏聴取・活動観察・ワークシート】</p>
<p>第3次 ◆曲の感じを生かして演奏する。</p> <p style="text-align: right;">◎ゆかいな木きん</p>		
5	<p>○常時活動：わらべうた「おつきさん、こんばんは」「なかなかほい」、リズムオリンピック、「うさぎ」(拍とリズム)</p> <p>○曲の感じをつかみ、拍にのって演奏を楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ゆかいな木きん」を拍打ちしながら範唱</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常時活動で、毎時間の積み重ねでできる喜びを味わわせる。</li> <li>・歌詞の表す様子を思い浮かべながら、拍にのって歌を聴いたり、歌ったりする。</li> <li>・グループで1台卓上木琴を使い、交代</li> </ul>

	<p>を聴き、曲の感じをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>4分の2拍子について知る。</u> (歌詞唱、リズム唱、階名唱)</li> <li>・ <u>主旋律が、呼びかけと答えになっていることに気づく。</u></li> <li>・ 答えの部分を木琴で演奏する。</li> </ul>	<p>で演奏する。一人が演奏している間、その他の児童は、木琴に合わせて階名唱しながら練習する。</p> <p>☆技②【演奏聴取・発言内容・活動観察】</p>
6	<p>○常時活動：わらべうた「おつきさん、こんばんは」「なかなかほい」、リズムオリンピック、「うさぎ」(拍とリズム)</p> <p>○拍にのって歌ったり、木琴で演奏したりすることを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ゆかいな木きん」拍をしっかり感じて、木琴で演奏する。</li> <li>・ 本題材の学習のまとめと振り返りをする。(振り返りカード)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 常時活動で、毎時間の積み重ねでできる喜びを味わわせる。</li> <li>・ 演奏するのが難しい児童には、音を1つにするなど柔軟に対応し、その児童が拍にのって楽しめるようにする。</li> </ul> <p>☆関②【活動観察・演奏聴取・振り返りカード】</p>

## 7 本時の学習指導

(1) 目標 反復や変化を使ってまとまりのあるリズムをつくり、拍にのって演奏することを楽しむ。

(2) 本時で主に扱う【共通事項】：ア 拍、リズム、フレーズ、反復、変化  
イ 四分音符、八分音符、四分音符

(1) 展開 (4/6時)

○学習内容・学習活動 <u>特に音楽的な見方・考え方を働かせる場面</u>	・指導上の留意点☆評価規準【評価方法】 ☞ <u>_____</u> における具体的な手だて	時間
<p>○常時活動「拍とリズムを感じる活動」をし、学習の雰囲気をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 拍を感じて歌い遊ぶ。 わらべうた 「おつきさん、こんばんは」「なかなかほい」</li> <li>・ リズムオリンピックで、いろいろなリズムパターンに親しむ。</li> <li>・ 「うさぎ」…<u>2人組で、拍とリズムに分かれ、合わせる。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ わらべうたで歌い遊ぶことで、全員で拍を感じて楽しみ、学習の雰囲気をつくる。</li> <li>・ リズムオリンピックは、四分音符を「ター」、八分音符を「チチ」、四分休符を「スン」と声に出すことで、しっかりリズムを感じられるようにする。</li> </ul> <p>☞ 「うさぎ」は、2人組で練習し、合わせる楽しさを感じられるようにする。</p> <p>☞ 常時活動では、教師がねらいをしっかりもって進め、児童自身が楽しみや喜びを感じられるようにする。そして、本時の活動につながるよう意識させる。</p>	15

○本時のめあてを確認する。

リズムをつくって、みんなでつなげよう

・前時の活動を振り返り、各自 AABA のリズムをつくってワークシートに記入する。

・つくったリズムを友達と共有し、拍にのって演奏することを楽しむ。(少人数)

・つくったリズムをみんなでつないで手拍子で打つ。(全員)  
A さん⇒みんな(まね)⇒B さん⇒みんな(まね)⇒……

○本時の学習を振り返る。

・前時までの活動を振り返り、本時の学習の見通しや、めあてがもてるようにする。  
・自分の気に入ったリズムをリズムオリピックの記譜の仕方を書く。

☞自分でつくったリズムをリズム唱したり、手拍子をしたりして、1小節が4拍分になっているか相互に確認する。

☞つくったリズムを共有し、全員でリズムをつなぐことを楽しむ。

☆創②【演奏聴取・活動観察・ワークシート】

・本時の取組のよさを称賛し、次時の活動の意欲につなげる。

30